

**WS
11**

絵画を楽しむ発展クラス～油彩・水彩～

※実技が中心。第1回前半のみ講義

【定員】25名 【受講料】2年・1年会員・聴講生ともに 30,250円（静物画モチーフ、人物画モデル代として4,000円を含みます。）

『美術』『ワークショップ』芸術 【時間】 毎回17時00分～19時30分（計10回）

概要

初心者から経験者も含めて、油彩と水彩を深く楽しむ講座です。絵画材料について理解し、1回ごとの描画プロセスを着実に積み重ねて進めていきます。自らの感覚をとらえて観察し描くことで、創造の喜びを発見することでしょう。

| 回 | 月/日(曜) | 会場 | 学習内容 | | 講師名(敬称略) | |
|----|----------|------------|------------|---|---|----------------------|
| 1 | 10/ 9(水) | 川崎市生涯学習プラザ | 静物 | 1 | 講義：絵画材料と用具について、描画プロセスの説明 木炭・鉛筆での下素描。 イエローオーカーなどの土性絵具による明暗対比表現。（キアロスクーロ） | NHK文化センター講師 佐藤 道子 |
| 2 | 10/16(水) | | | 2 | 固有色を観察し、全体と部分の関係を感じ取りながら、対象に迫る。 | |
| 3 | 10/23(水) | | 裸婦 デッサン | 6ポーズを行います。 クロッキー帳またはスケッチブック 木炭・コンテ・鉛筆（2B～4B） | | |
| 4 | 10/30(水) | | 人物・着衣 | 1 | 木炭・鉛筆での下素描。 イエローオーカーなどの土性絵具による明暗対比表現。（キアロスクーロ） | |
| 5 | 11/ 6(水) | | | 2 | 油彩の場合は、明部を白色系絵具で下塗りする。 暗色の分布に注目して、立体感や空間感を表現する。 | |
| 6 | 11/13(水) | | | 3 | 感じた色彩を伸び伸びした筆致で塗る。最後まで大きな見方で描き進める。 | |
| 7 | 11/20(水) | | 人物・裸婦 | 1 | 木炭・鉛筆での下素描。 イエローオーカーなどの土性絵具による明暗対比表現。（キアロスクーロ） | |
| 8 | 11/27(水) | | | 2 | 油彩の場合は、明部を白色系絵具で下塗りする。 人体の動きや肌の質感を観察して絵具を塗り重ねる。 | |
| 9 | 12/ 4(水) | | | 3 | 観察した固有色を積極的に画面にのせ、自分の受けた印象を表現してみる。 | |
| 10 | 12/11(水) | | 講評会 | これまで描いた作品についての受講生のスピーチと、講師の講評 | | |

連絡事項

10/9(第1回)から実技を行います。必要な持ち物は、受講決定通知内でご案内いたします。